

端末の整備・更新時の校内での入れ替え作業のチェックのポイントをまとめました。

入れ替えとなる端末については大きく「校内で再使用する」「修理時の部品取り用として利用する」「廃棄する」の3つに分けられます。チェックのポイントを基に、端末の使用目的、保管場所及び管理者を明確にし、それに基づいた計画を検討してください。



「新規導入される端末の台数」が明らかになった段階で、現行の端末のうち「入れ替えとなる端末の台数」がわかります。

※100台が入れ替えとなる場合を例として示します



### 入れ替えとなる端末（100台の内訳計画）（例）

**廃棄（40台）**  
※再資源化

#### 校内で再使用（40台）

- ・HR教室据置端末〔教室〕6台
- ・指導者用端末〔職員室〕18台
- ・欠席者用オンライン授業配信端末〔職員室〕8台
- ・端末修理時の貸出用〔倉庫〕8台

#### 修理時の部品取り用等として利用（20台）

- ・修理時の部品取り用〔倉庫〕20台

#### 校内で再使用する時のチェックのポイント

- 使用目的、保管場所、管理者は明確か
- 画面、キーボード、ヒンジ部分等に故障はないか（通常使用が可能か）
- 再使用端末の廃棄時期は明確か
- 管理場所等について端末の管理台帳が適切に更新されているか

#### 修理時の部品取り用として利用する時のチェックのポイント

- 取り外した部品は現行使用の端末や新規導入の端末に使用可能か
- 部品を取り外した端末の廃棄時期・廃棄方法は明確か
- 廃棄依頼する業者は部品取りをした端末や充電ケーブルがない端末を回収しているか
- 管理場所等の変更について管理台帳を修正したか

#### 廃棄する時のチェックのポイント

- 廃棄する端末のデータ消去が確実にされているか（業者によって対応が異なる場合有）
- 廃棄する端末の付属品は全てそろっているか
- 廃棄する端末の管理台帳及び備品台帳上の記載が適切に行われているか

